

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	介護実習(Fieldwork of Nursing Care)		授業コード	E007451
担当教員名	野中 義光、河村 裕次		科目ナンバリングコード	E20912
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	訪問介護論A、B履修者で介護職員初任者研修修了(旧ホームヘルパー2級相当)を目指すもののみ。			
受講心得	出席を重視します。実習に際しては、挨拶の励行や実習させていただくという謙虚な姿勢は不可欠です。			
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目	訪問介護論A・B, 基本介護技術, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 介護概論			

授業の目的	介護の目的、機能及び展開過程を理解し、学内で習得した知識と介護技術について、老人福祉施設において、利用者が求めている日常生活援助に関する介護技術能力を養います。 また、実習指導者の指導を受けながら、チームの一員として介護を遂行する能力を養います。
授業の概要	介護実習では、既に講義で学んだ知識、理論、技術を基にして福祉施設の実際を学びます。

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
2年次後期に集中して施設において30時間以上の実習を行います。 実習は介護老人福祉施設、デイサービスセンター及びホームヘルパー同行訪問を行います。事前に実習指導をいたします。	実習計画書の作成	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	積極的に利用者や職員とコミュニケーションを図ることができる。
【知識・理解】	介護実習を通して、介護職に求められる知識と技術について具体的かつ実際的に理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	介護職員として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応することができる。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			25点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。			50点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			25点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	<p>実習態度、実習日誌等をもとに総合的に判断します。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。</p> <p>[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。</p> <p>[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>